

市 指定管理者制度見直し

姫路市 12月6日
05月 選定委 助役が管理会社社長で

姫路市で来年度から市内計68公共施設に導入される指定管理者制度について、管理者を選定する選定委員会で委員長を務める米田洋助役が、姫路市民プラザ（同市本町）の管理者に選ばれた「イークレヒめじ管理株式会社」の社長でもあることが5日、分かった。管理者を選ぶ側と選ばれる側を同じ人物が担当したことになる、市は「法的に問題はないが、透明性を高めるためにも、06年度までに制度を見直した」としている。

この日の市議会一般質問で、竹内英明議員（市民）が「具体的な選定

を担当する部会のメンバーは市職員。その部会で助役が社長を務める会社を職員が評価して制度の公平性が担保できるのか。市幹部や市議が役員を務める企業が指定管理者となることに何らかの規制を設ける必要がある」と指摘した。

姫路市民プラザの管理者募集には、同市が公募した9施設のうち最も高となる10団体が応募。市職員や外部委員らによる選定部会が同社に社にしほり、同委員会で最終決定した。採択の際、米田助役は退席したという。

【安藤大介】